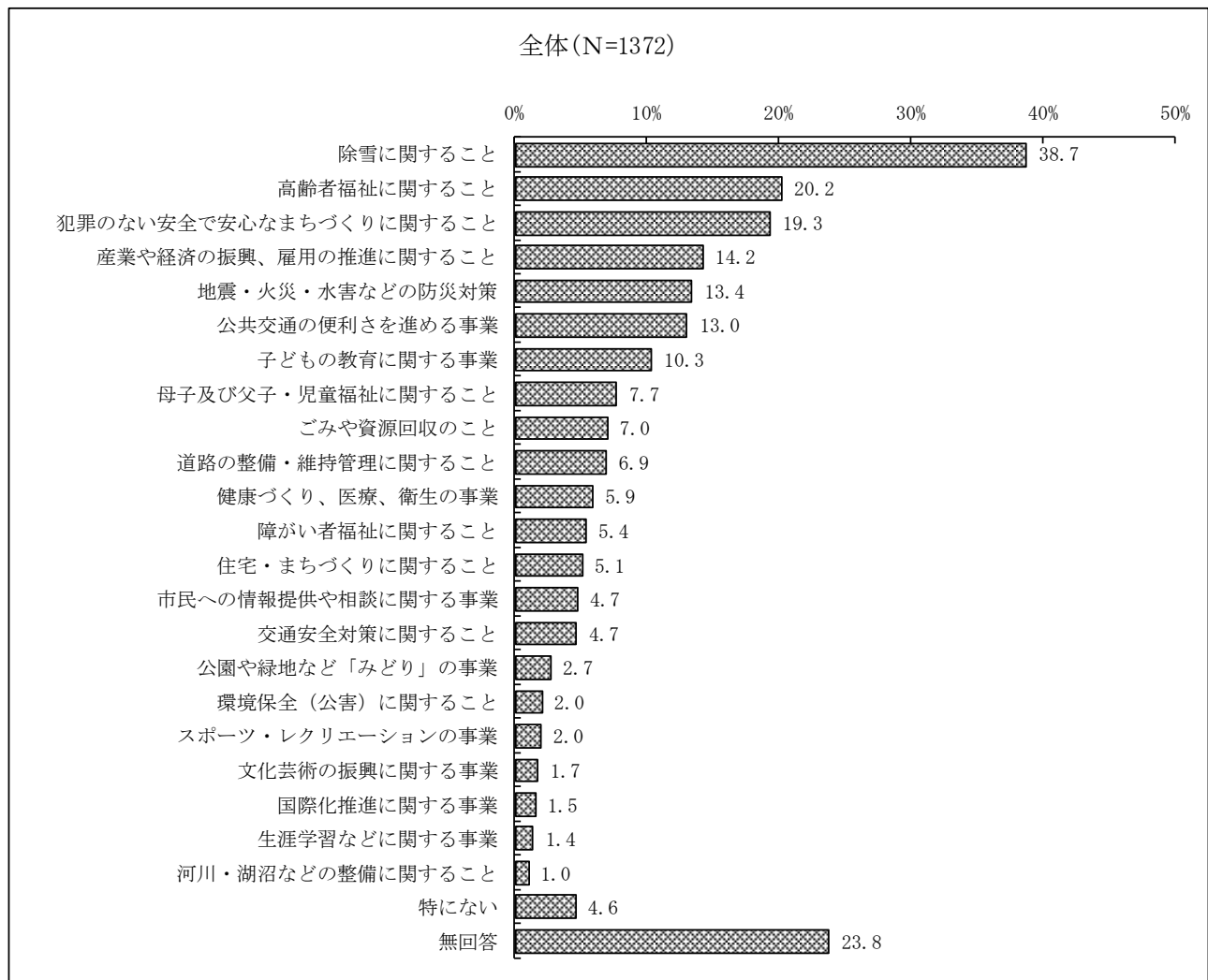


■要望する施策(市政に関する要望)

問2 あなたが市政に対して、「力をいれてほしいもの」は、何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。



市政に対して要望する施策について、「除雪に関すること」が 38.7%と最も高く、次いで、「高齢者福祉に関すること」が 20.2%、「犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること」が 19.3%となっている。以下、「産業や経済の振興、雇用の推進に関すること」が 14.2%、「地震・火災・水害などの防災対策」が 13.4%、「公共交通の便利さを進める事業」が 13.0%となっている。

市政に対して要望する施策について、「除雪に関すること」が 38.7%。

	サンプル数	住宅・まちづくりに関する事業	公共交通の便利さを進める事業	産業や経済の振興、雇用の推進に関する事業	ごみや資源回収のこと	環境保全（公害）に関する事業	河川・湖沼などの整備に関する事業	地震・火災・水害などの防災対策	犯罪のない安全で安心なまちづくりに関する事業	交通安全対策に関する事業	道路の整備・維持管理に関する事業	除雪に関する事業	公園や緑地など「みどり」の事業	子どもの教育に関する事業	生涯学習などに関する事業	文化芸術の振興に関する事業	スポーツ・レクリエーションの事業	健康づくり、医療、衛生の事業	母子及び父子・児童福祉に関する事業	高齢者福祉に関する事業	障がい者福祉に関する事業	国際化推進に関する事業	市民への情報提供や相談に関する事業	特になし	無回答
平成26年度	1372	5.1	13.0	14.2	7.0	2.0	1.0	13.4	19.3	4.7	6.9	38.7	2.7	10.3	1.4	1.7	2.0	5.9	7.7	20.2	5.4	1.5	4.7	4.6	23.8
平成25年度	1348	4.1	13.6	13.6	6.6	4.5	1.2	13.6	15.9	5.3	9.1	40.6	3.4	10.8	1.9	1.6	1.7	7.1	8.4	19.4	6.4	1.9	4.4	4.0	21.1
《性別》																									
男性	632	5.2	14.9	14.7	7.6	1.4	1.3	13.0	17.7	5.1	8.1	40.3	1.9	10.3	1.3	1.4	3.2	4.9	5.2	17.4	4.9	1.4	4.9	6.2	24.1
女性	740	5.0	11.5	13.8	6.5	2.6	0.8	13.8	20.7	4.3	5.9	37.3	3.4	10.4	1.5	2.0	0.9	6.8	9.9	22.6	5.8	1.6	4.6	3.2	23.5
《年代別》																									
18歳～19歳	36	8.3	30.6	5.6	8.3	-	-	11.1	16.7	5.6	5.6	25.0	-	11.1	-	2.8	2.8	-	5.6	5.6	8.3	-	2.8	13.9	22.2
20歳～29歳	143	7.7	19.6	8.4	3.5	3.5	-	14.0	21.0	4.2	6.3	40.6	2.8	13.3	-	2.1	4.2	3.5	10.5	6.3	3.5	2.1	2.8	11.9	19.6
30歳～39歳	219	3.2	12.8	15.5	8.7	1.4	0.9	11.9	20.1	6.8	6.4	45.7	5.0	18.7	1.8	5.0	2.7	6.4	15.1	7.8	5.5	1.8	7.8	4.1	15.5
40歳～49歳	240	5.4	10.4	17.5	5.4	1.3	1.3	12.1	23.3	4.2	6.7	37.5	3.8	15.4	0.8	0.8	1.7	5.4	6.7	20.4	5.0	2.9	5.4	3.3	21.7
50歳～59歳	240	5.0	15.4	13.3	6.3	2.9	0.4	13.8	23.3	5.0	7.9	40.8	0.8	7.9	2.5	1.3	2.9	5.0	6.3	22.1	5.4	2.1	2.1	5.8	22.1
60歳～69歳	285	3.5	10.5	18.9	6.0	1.8	1.1	15.4	17.2	3.2	6.7	41.1	1.4	4.6	1.1	0.7	0.7	7.7	7.7	32.6	7.4	0.4	5.6	1.1	26.7
70歳以上	209	6.7	9.6	9.1	11.5	2.4	2.4	13.4	11.5	4.8	7.7	28.2	3.3	4.3	1.9	1.0	0.5	7.2	1.4	25.8	3.8	0.5	4.3	3.3	35.9
《出生地別》																									
札幌生まれ	454	4.4	15.2	15.0	5.7	3.1	0.7	12.1	20.5	5.9	7.0	37.9	2.4	11.5	0.9	2.6	2.2	4.6	7.9	17.0	5.3	2.2	4.0	5.5	22.2
札幌以外	898	5.3	12.0	14.0	7.5	1.6	1.2	13.9	18.8	4.0	6.8	39.8	2.9	9.9	1.7	1.3	1.9	6.7	7.8	22.0	5.5	1.2	5.2	4.1	23.9

は各属性で最も高い数値

昨年度と比較すると、上位 6 項目に変化はみられず、「除雪に関する事業」が 38.7%で引き続き第 1 位となっている。

性別でみると、男女で差はみられず、全体と同様に「除雪に関する事業」が最も高くなっている。

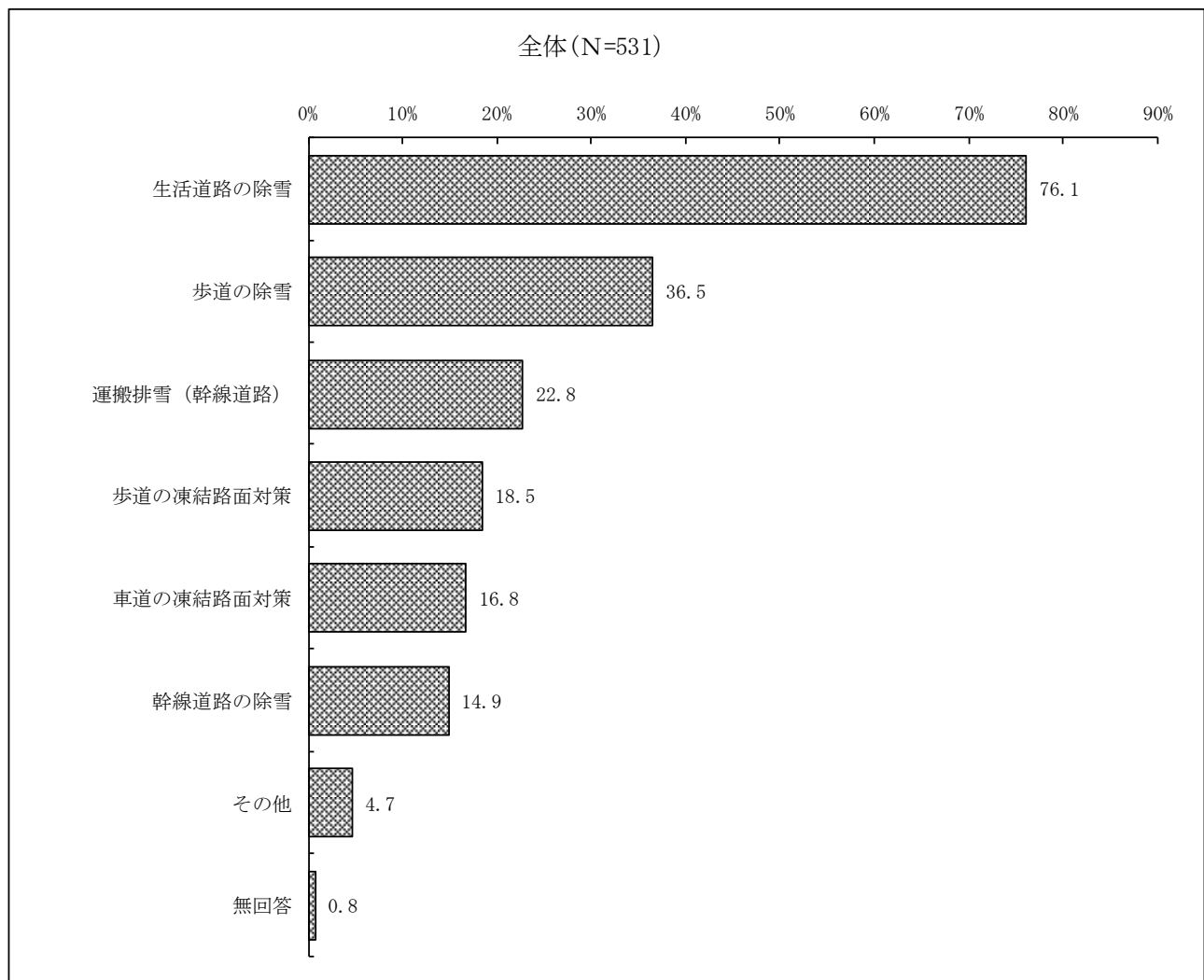
年代別でみると、20 歳代～70 歳以上は、全体と同様に「除雪に関する事業」が最も高くなっており、18 歳～19 歳は、「公共交通の便利さを進める事業」が最も高くなっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人、札幌以外の出身者ともに、「除雪に関する事業」が最も高くなっている。

■具体的事項(上位10項目)

付問 「これから、より積極的に進めてほしい」ということに2つまで○をつけてください。

[第1位 除雪に関すること]



除雪に関することで、これから、より積極的に進めてほしいと思うことは、「生活道路の除雪」が **76.1%**と最も高く、次いで、「歩道の除雪」が **36.5%**となっている。以下、「運搬排雪(幹線道路)」が **22.8%**、「歩道の凍結路面对策」が **18.5%**となっている。

除雪に関することで、より積極的に進めてほしいと思うことは、「生活道路の除雪」が **76.1%**。

	サンプル数	幹線道路の除雪	生活道路の除雪	歩道の除雪	運搬排雪（幹線道路）	車道の凍結路面对策	歩道の凍結路面对策	その他	無回答
平成26年度	531	14.9	76.1	36.5	22.8	16.8	18.5	4.7	0.8
平成25年度	547	15.2	73.7	34.2	21.4	20.1	21.6	3.5	1.5
《性別》									
男性	255	21.2	77.3	28.6	28.6	16.9	12.5	5.5	0.8
女性	276	9.1	75.0	43.8	17.4	16.7	23.9	4.0	0.7
《年代別》									
18歳～19歳	9	22.2	33.3	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2	-
20歳～29歳	58	6.9	79.3	51.7	13.8	15.5	17.2	1.7	1.7
30歳～39歳	100	20.0	82.0	38.0	26.0	15.0	3.0	8.0	2.0
40歳～49歳	90	15.6	71.1	41.1	35.6	11.1	10.0	4.4	1.1
50歳～59歳	98	16.3	73.5	28.6	22.4	23.5	19.4	3.1	-
60歳～69歳	117	12.8	79.5	33.3	19.7	18.8	27.4	4.3	-
70歳以上	59	13.6	74.6	30.5	15.3	15.3	40.7	3.4	-
《出生地別》									
札幌生まれ	172	15.1	74.4	38.4	25.6	16.3	15.1	4.7	2.3
札幌以外	357	14.8	77.0	35.3	21.3	17.1	20.2	4.8	-

は各属性で最も高い数値

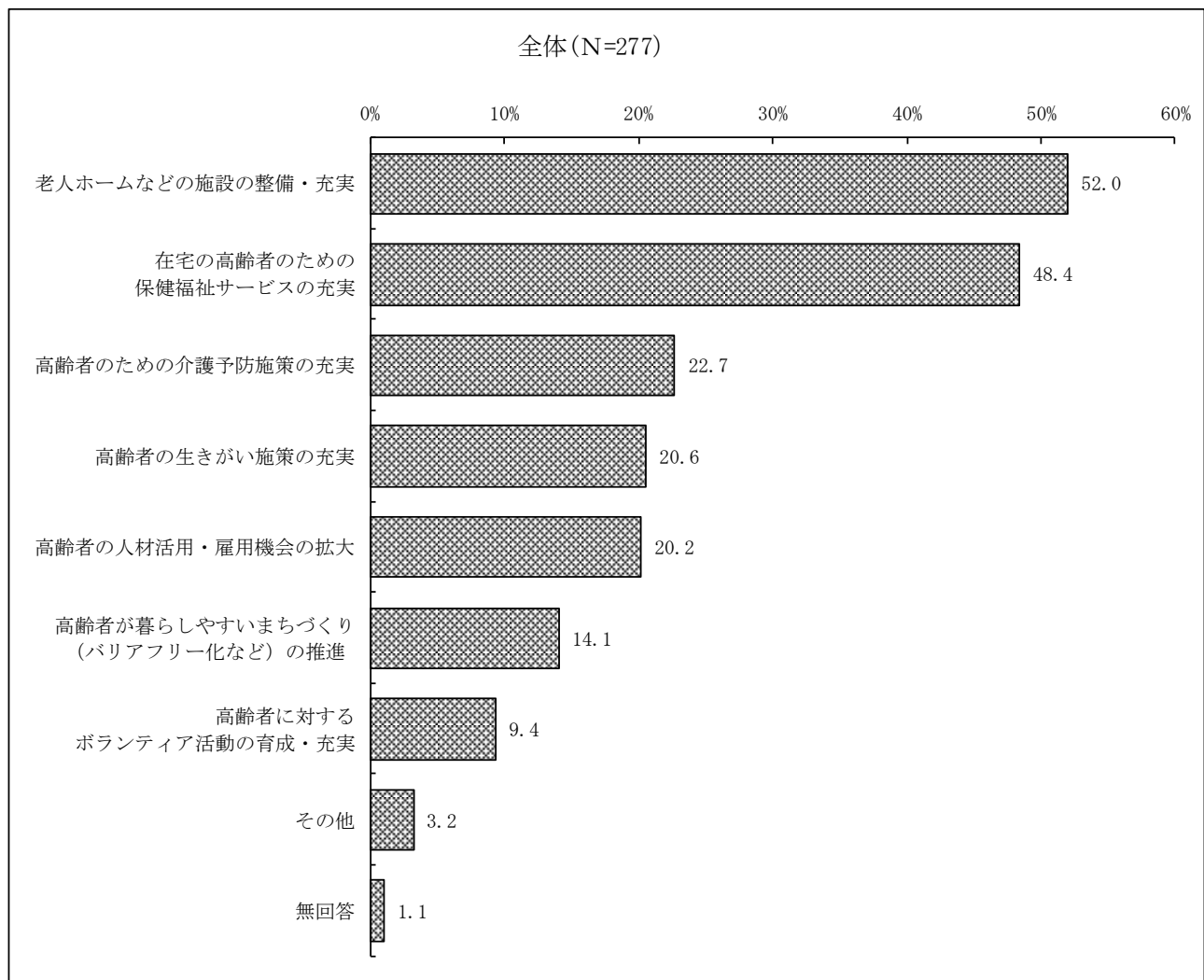
昨年度と比較すると、「生活道路の除雪」が昨年度の 73.7%に対し、本年度は 76.1%と 2.4 ポイント増で、引き続き第 1 位となっている。

性別でみると、男女とも全体と同様に「生活道路の除雪」が最も高くなっている。一方、全体で第 2 位の「歩道の除雪」は、女性が 43.8%で、男性の 28.6%より 15.2 ポイント高くなっている。

年代別でみると、20 歳代～70 歳以上は、全体と同様に「生活道路の除雪」が最も高くなっており、18 歳～19 歳では「歩道の除雪」が最も高くなっている。また、「歩道の凍結路面对策」では、70 歳以上が 4 割を超えており、他の年代層より高くなっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人、札幌以外の出身者ともに、「生活道路の除雪」が最も高くなっている。

[第2位 高齢者福祉に関すること]



高齢者福祉に関することで、これから、より積極的に進めてほしいと思うことは、「老人ホームなどの施設の整備・充実」が 52.0%と最も高く、次いで、「在宅の高齢者のための保健福祉サービスの充実」が 48.4%となっている。以下、「高齢者のための介護予防施策の充実」が 22.7%、「高齢者の生きがい施設の充実」が 20.6%となっている。

高齢者福祉に関することで、より積極的に進めてほしいと思うことは、「老人ホームなどの施設の整備・充実」が 52.0%。

	サンプル数	在宅の高齢者のための保健福祉サービスの充実	高齢者のための介護予防施策の充実	高齢者の生きがい施策の充実	高齢者の人材活用・雇用機会の拡大	高齢者が暮らしやすいまちづくり（バリアフリー化など）の推進	老人ホームなどの施設の整備・充実	高齢者に対するボランティア活動の育成・充実	その他	無回答
平成26年度	277	48.4	22.7	20.6	20.2	14.1	52.0	9.4	3.2	1.1
平成25年度	262	49.6	24.4	16.8	24.0	21.0	41.2	10.7	2.3	0.8
《性別》										
男性	110	50.0	20.0	23.6	24.5	14.5	52.7	8.2	1.8	－
女性	167	47.3	24.6	18.6	17.4	13.8	51.5	10.2	4.2	1.8
《年代別》										
18歳～19歳	2	－	－	－	－	50.0	－	50.0	50.0	－
20歳～29歳	9	44.4	11.1	－	44.4	11.1	66.7	－	11.1	－
30歳～39歳	17	41.2	17.6	17.6	23.5	23.5	52.9	5.9	5.9	5.9
40歳～49歳	49	51.0	24.5	16.3	28.6	12.2	38.8	12.2	－	2.0
50歳～59歳	53	50.9	18.9	17.0	18.9	13.2	50.9	11.3	7.5	－
60歳～69歳	93	47.3	19.4	24.7	20.4	12.9	60.2	8.6	1.1	－
70歳以上	54	50.0	35.2	25.9	9.3	14.8	50.0	7.4	1.9	1.9
《出生地別》										
札幌生まれ	77	53.2	13.0	14.3	23.4	18.2	58.4	6.5	2.6	1.3
札幌以外	198	47.0	26.3	22.7	18.7	12.6	49.5	10.6	3.5	1.0

は各属性で最も高い数値

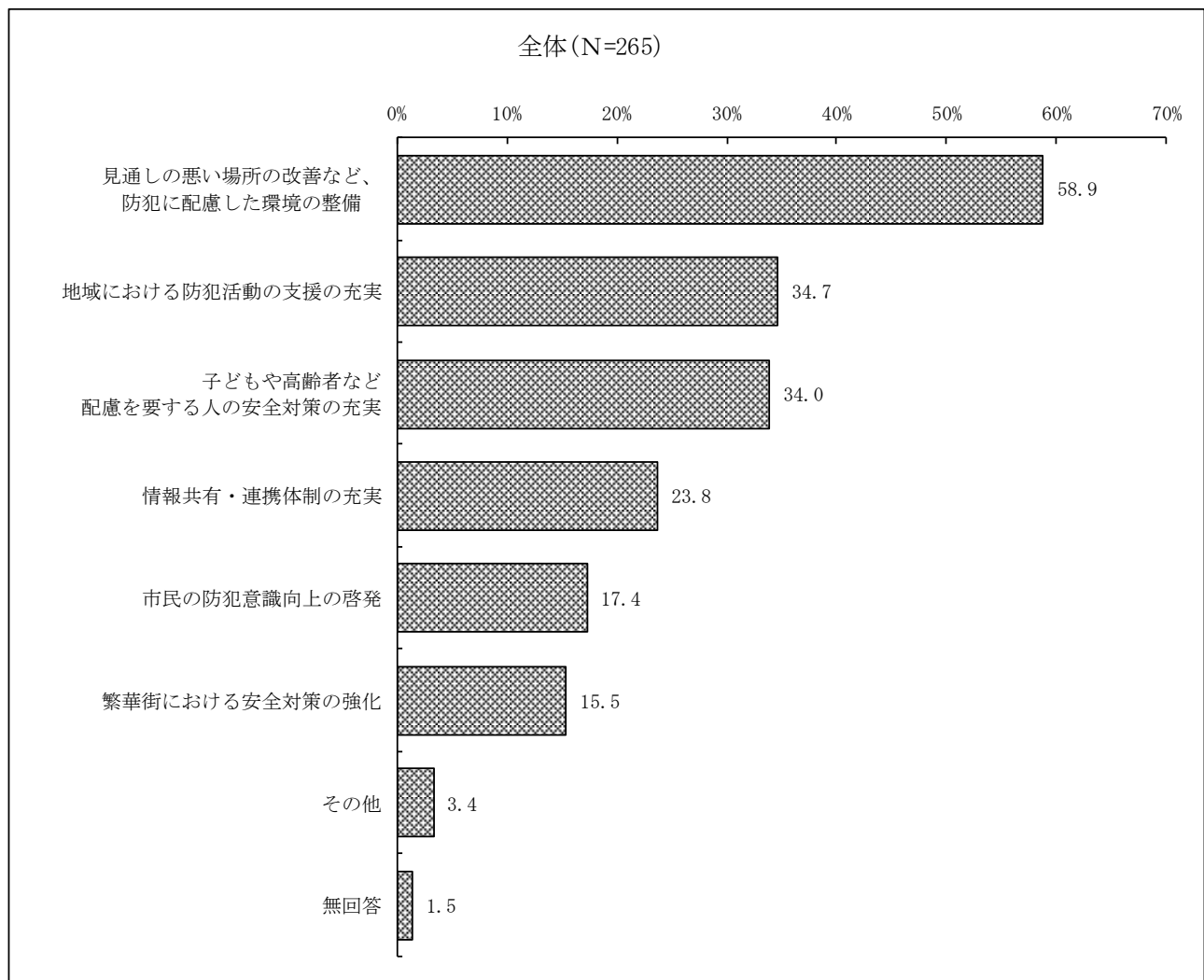
昨年度と比較すると、「老人ホームなどの施設の整備・充実」が昨年度の 41.2%に対し、本年度は 52.0%と 10.8 ポイント増で、第 2 位から第 1 位となっている。また、「高齢者の生きがい施設の充実」が本年度は 20.6%で、昨年度の 16.8%より 3.8 ポイント高くなり、第 6 位から第 4 位となっている。

性別でみると、男女とも全体と同様に「老人ホームなどの施設の整備・充実」が最も高くなっている。

年代別でみると、20 歳代、30 歳代、50 歳代～70 歳以上は、全体と同様に「老人ホームなどの施設の整備・充実」が最も高くなっており、40 歳代は「在宅の高齢者のための保健福祉サービスの充実」、50 歳代と 70 歳以上は同率で、「在宅の高齢者のための保健福祉サービスの充実」が第 1 位となっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人、札幌以外の出身者ともに、「老人ホームなどの施設の整備・充実」が最も高くなっている。

〔第3位 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること〕



犯罪のない安全で安心なまちづくりに関することで、これから、より積極的に進めてほしいと思うことは、「見通しの悪い場所の改善など、防犯に配慮した環境の整備」が 58.9%と最も高く、次いで、「地域における防犯活動の支援の充実」が 34.7%、「子どもや高齢者など配慮を要する人の安全対策の充実」が 34.0%となっている。

犯罪のない安全で安心なまちづくりに関することで、より積極的に進めてほしいと思うことは、「見通しの悪い場所の改善など、防犯に配慮した環境の整備」が 58.9%。

	サンプル数	市民の防犯意識向上の啓発	情報共有・連携体制の充実	地域における防犯活動の支援の充実	子どもや高齢者の安全対策の充実	見通しの悪い場所の整備	繁華街における安全対策の強化	その他	無回答
平成26年度	265	17.4	23.8	34.7	34.0	58.9	15.5	3.4	1.5
平成25年度	214	9.8	21.0	24.8	43.9	66.8	14.5	3.3	1.9
《性別》									
男性	112	17.0	27.7	37.5	29.5	49.1	18.8	3.6	2.7
女性	153	17.6	20.9	32.7	37.3	66.0	13.1	3.3	0.7
《年代別》									
18歳～19歳	6	16.7	33.3	33.3	50.0	50.0	16.7	-	-
20歳～29歳	30	6.7	23.3	40.0	20.0	60.0	26.7	10.0	3.3
30歳～39歳	44	11.4	20.5	31.8	38.6	70.5	13.6	2.3	2.3
40歳～49歳	56	16.1	19.6	35.7	35.7	62.5	17.9	3.6	-
50歳～59歳	56	17.9	25.0	28.6	32.1	62.5	14.3	3.6	1.8
60歳～69歳	49	22.4	24.5	38.8	34.7	51.0	16.3	2.0	-
70歳以上	24	33.3	33.3	37.5	37.5	37.5	-	-	4.2
《出生地別》									
札幌生まれ	93	15.1	23.7	34.4	35.5	61.3	14.0	3.2	3.2
札幌以外	169	18.3	23.7	35.5	32.0	58.0	16.6	3.6	0.6

は各属性で最も高い数値

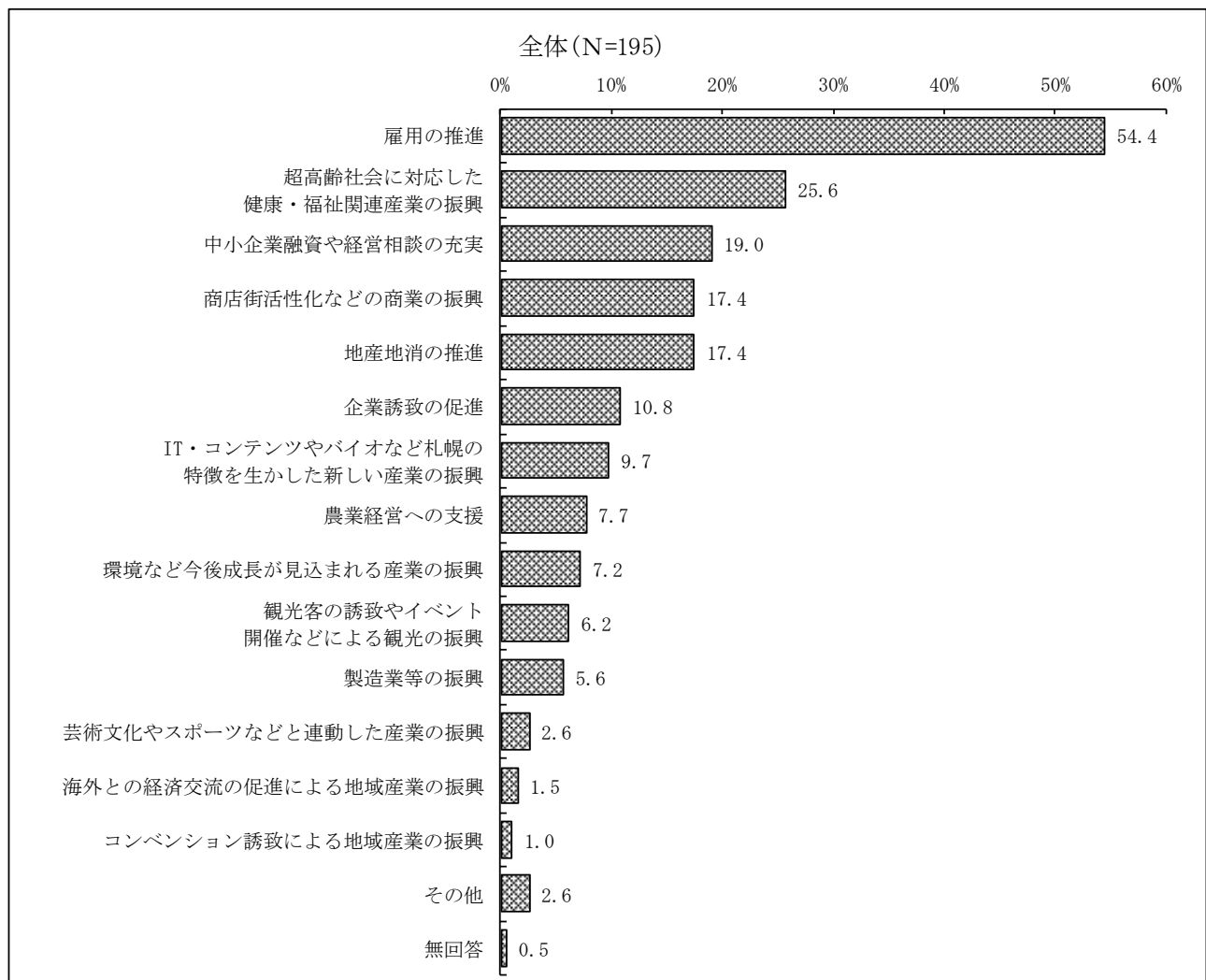
昨年度と比較すると、上位4項目に変化はなく、「見通しの悪い場所の改善など、防犯に配慮した環境の整備」が昨年度の66.8%に対し、本年度は58.9%と7.9ポイント減であるが、引き続き第1位となっている。

性別でみると、男女とも全体と同様に「見通しの悪い場所の改善など、防犯に配慮した環境の整備」が最も高くなっており、女性が66.0%で、男性の49.1%より16.9ポイント高くなっている。

年代別でみると、各年代層とも全体と同様に「見通しの悪い場所の改善など、防犯に配慮した環境の整備」が最も高くなっている。また、18歳～19歳は同率で、「子どもや高齢者など配慮を要する人の安全対策の充実」が第1位、70歳以上は同率で、「子どもや高齢者など配慮を要する人の安全対策の充実」と「地域における防犯活動の支援の充実」が第1位となっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人、札幌以外出身者ともに、「見通しの悪い場所の改善など、防犯に配慮した環境の整備」が最も高くなっている。

[第4位 産業や経済の振興、雇用の推進に関すること]



産業や経済の振興、雇用の推進に関することで、これから、より積極的に進めてほしいと思うことは、「雇用の推進」が 54.4%と最も高く、次いで、「超高齢社会に対応した健康・福祉関連産業の振興」が 25.6%となっている。以下、「中小企業融資や経営相談の充実」が 19.0%、「商店街活性化などの商業の振興」と「地産地消の推進」が 17.4%となっている。

産業や経済の振興、雇用の推進に関することで、より積極的に進めてほしいと思うことは、「雇用の推進」が 54.4%。

	サンプル数	中小企業融資や経営相談の充実	商店街活性化などの商業の振興	海外との経済交流の促進による地域産業の振興	企業誘致の促進	製造業等の振興	IT・コンテンツやバイオなど産業の振興	環境など今後成長が見込まれる産業の振興	超高齢社会に対応した健康・福祉関連産業の振興	芸術文化やスポーツなどと連動した産業の振興	観光客の誘致やイベント開催などによる観光の振興	コンベンション誘致による地域産業の振興	地産地消の推進	雇用の推進	農業経営への支援	その他	無回答
平成26年度	195	19.0	17.4	1.5	10.8	5.6	9.7	7.2	25.6	2.6	6.2	1.0	17.4	54.4	7.7	2.6	0.5
平成25年度	183	14.8	18.0	4.9	-	-	11.5	19.1	-	4.4	10.4	1.6	20.8	64.5	7.1	3.3	0.5
《性別》																	
男性	93	22.6	18.3	3.2	10.8	8.6	14.0	8.6	25.8	1.1	8.6	2.2	14.0	43.0	7.5	4.3	1.1
女性	102	15.7	16.7	-	10.8	2.9	5.9	5.9	25.5	3.9	3.9	-	20.6	64.7	7.8	1.0	-
《年代別》																	
18歳～19歳	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
20歳～29歳	12	25.0	8.3	8.3	8.3	16.7	25.0	-	8.3	-	16.7	-	8.3	50.0	8.3	-	-
30歳～39歳	34	26.5	14.7	-	11.8	-	14.7	8.8	20.6	8.8	5.9	2.9	8.8	58.8	5.9	5.9	-
40歳～49歳	42	14.3	14.3	2.4	9.5	9.5	4.8	4.8	28.6	-	2.4	-	16.7	61.9	11.9	4.8	-
50歳～59歳	32	21.9	15.6	-	9.4	6.3	3.1	12.5	9.4	-	6.3	-	25.0	65.6	9.4	-	-
60歳～69歳	54	11.1	25.9	1.9	14.8	5.6	7.4	7.4	31.5	3.7	5.6	1.9	24.1	40.7	5.6	1.9	1.9
70歳以上	19	31.6	15.8	-	5.3	-	15.8	5.3	52.6	-	10.5	-	10.5	47.4	5.3	-	-
《出生地別》																	
札幌生まれ	68	22.1	19.1	4.4	7.4	5.9	7.4	8.8	17.6	2.9	1.5	-	22.1	55.9	7.4	2.9	-
札幌以外	126	17.5	16.7	-	12.7	5.6	11.1	6.3	29.4	2.4	8.7	1.6	15.1	53.2	7.9	2.4	0.8

は各属性で最も高い数値

平成25年度欄の「-」は比較データなし

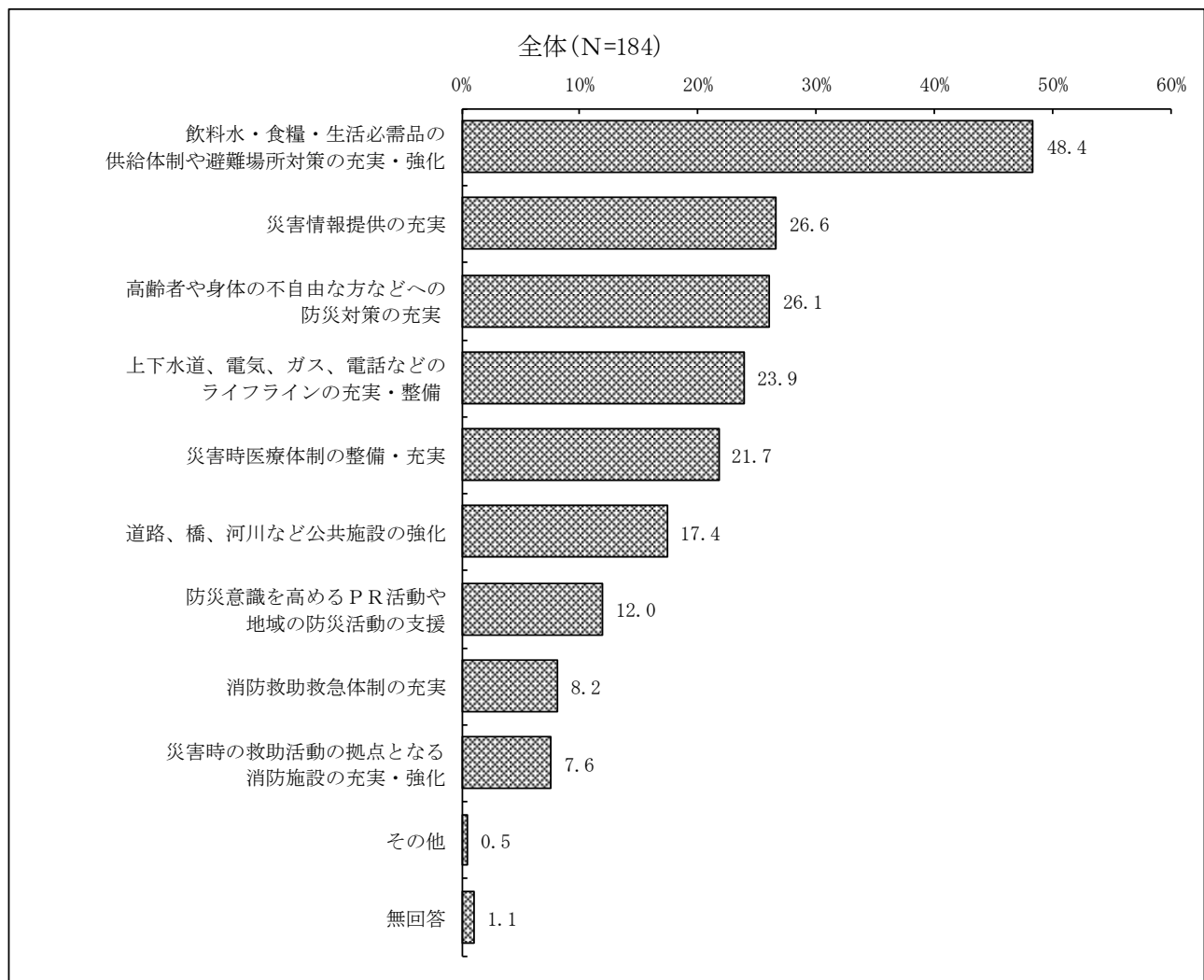
昨年度と比較すると、「雇用の推進」が 54.4%と最も高く、引き続き第 1 位となっている。また、本年度新たに選択肢に入った「超高齢社会に対応した健康・福祉関連産業の振興」が 25.6%で、第 2 位となっている。

性別でみると、男女ともに「雇用の推進」が最も高くなっており、女性が 64.7%で、男性の 43.0%より 21.7 ポイント高くなっている。

年代別でみると、18 歳～19 歳、20 歳代～60 歳代は、全体と同様に「雇用の推進」が最も高くなっており、70 歳以上は、「超高齢社会に対応した健康・福祉関連産業の振興」が最も高くなっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人、札幌以外の出身者とも全体と同様に、「雇用の推進」が最も高くなっている。また、全体で第 2 位の「超高齢社会に対応した健康・福祉関連産業の振興」は、札幌以外の出身者が 29.4%で、札幌生まれの人の 17.6%より 11.8 ポイント高くなっている。

[第5位 地震・火災・水害などの防災対策]



地震・火災・水害などの防災対策について、これから、より積極的に進めてほしいと思うことは、「飲料水・食糧・生活必需品の供給体制や避難場所対策の充実・強化」が 48.4%と最も高く、次いで、「災害情報提供の充実」が 26.6%、「高齢者や身体の不自由な方などへの防災対策の充実」が 26.1%となっている。

地震・火災・水害などの防災対策について、より積極的に進めてほしいと思うことは、「飲料水・食糧・生活必需品の供給体制や避難場所対策の充実・強化」が 48.4%。

	サンプル数	防災活動の支援	防災意識を高めるPR活動や地域の	高齢者や身体の不自由な方などへの防災対策の充実	道路、橋、河川など公共施設の強化	上下水道、電気、ガス、整備	飲料水・食糧・生活必需品の供給体制や避難場所対策の充実・強化	災害情報提供の充実	災害時医療体制の整備・充実	消防救助救急体制の充実	災害時の救助活動の拠点となる消防施設の充実・強化	その他	無回答
平成26年度	184	12.0	26.1	17.4	23.9	48.4	26.6	21.7	8.2	7.6	0.5	1.1	
平成25年度	184	14.1	31.0	16.8	29.9	52.7	15.2	18.5	3.3	10.9	1.1	0.5	
《性別》													
男性	82	11.0	28.0	17.1	23.2	48.8	20.7	23.2	13.4	7.3	-	1.2	
女性	102	12.7	24.5	17.6	24.5	48.0	31.4	20.6	3.9	7.8	1.0	1.0	
《年代別》													
18歳～19歳	4	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-	
20歳～29歳	20	5.0	10.0	20.0	30.0	55.0	30.0	15.0	20.0	5.0	5.0	-	
30歳～39歳	26	3.8	11.5	26.9	26.9	53.8	19.2	23.1	11.5	3.8	-	7.7	
40歳～49歳	29	10.3	20.7	24.1	20.7	51.7	20.7	34.5	13.8	3.4	-	-	
50歳～59歳	33	18.2	12.1	18.2	27.3	48.5	24.2	30.3	6.1	9.1	-	-	
60歳～69歳	44	15.9	40.9	9.1	27.3	43.2	38.6	9.1	2.3	6.8	-	-	
70歳以上	28	14.3	50.0	10.7	14.3	42.9	21.4	21.4	3.6	17.9	-	-	
《出生地別》													
札幌生まれ	55	12.7	23.6	18.2	21.8	49.1	20.0	25.5	10.9	7.3	1.8	1.8	
札幌以外	125	12.0	27.2	16.8	24.8	49.6	29.6	20.8	7.2	7.2	-	-	

は各属性で最も高い数値

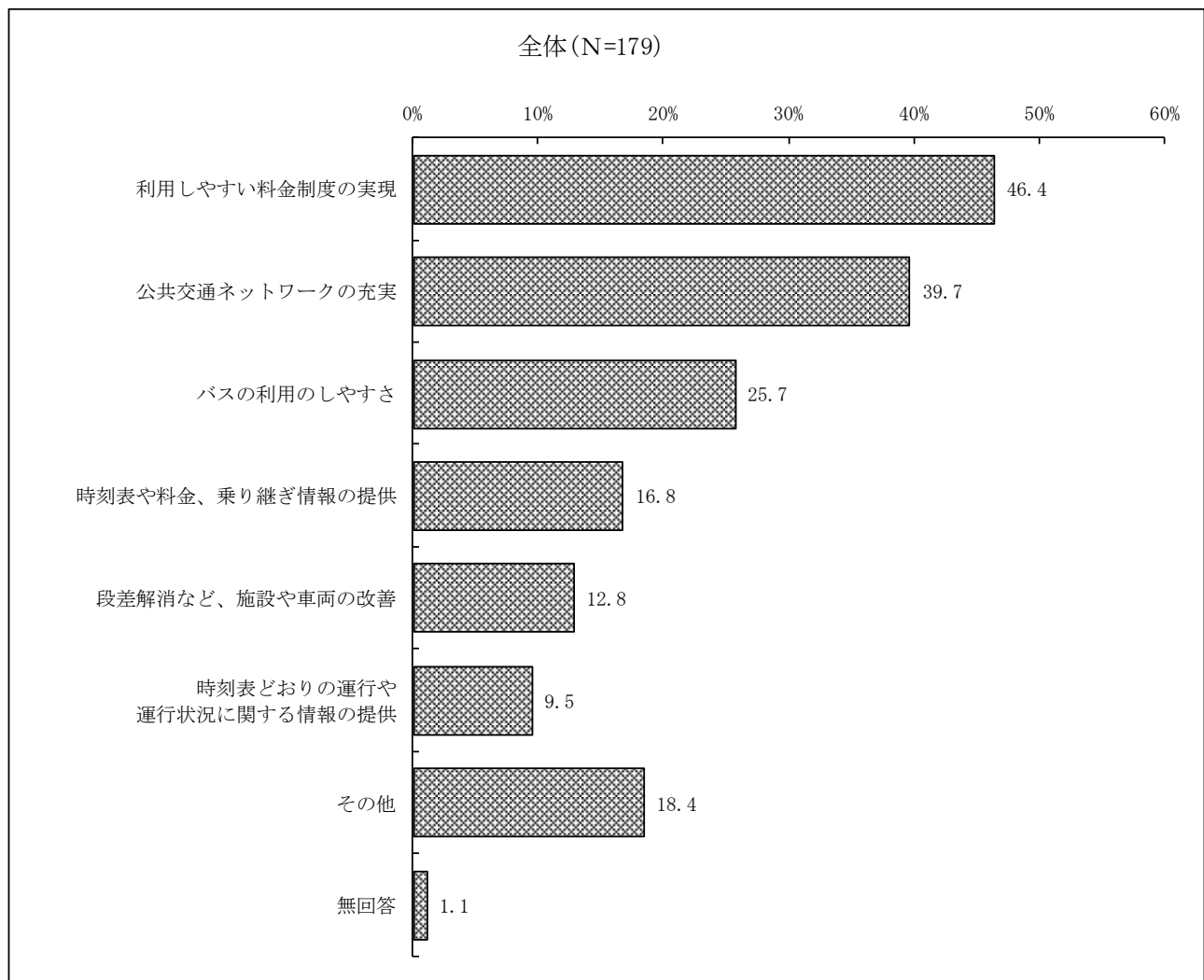
昨年度と比較すると、「飲料水・食糧・生活必需品の供給体制や避難場所対策の充実・強化」が昨年度の 52.7%に対し、本年度は 48.4%と 4.3 ポイント減であるが、引き続き第 1 位となっている。また、「災害情報提供の充実」が 26.6%で、昨年度の 15.2%より 11.4 ポイント高くなり、第 6 位から第 2 位となっている。

性別でみると、男女とも全体と同様に「飲料水・食糧・生活必需品の供給体制や避難場所対策の充実・強化」が最も高くなっている。

年代別でみると、18 歳～19 歳、20 歳代～60 歳代は、全体と同様に「飲料水・食糧・生活必需品の供給体制や避難場所対策の充実・強化」が最も高くなっており、70 歳以上は、「高齢者や身体の不自由な方などへの防災対策の充実」が最も高くなっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人、札幌以外の出身者ともに、全体と同様に「飲料水・食糧・生活必需品の供給体制や避難場所対策の充実・強化」が最も高くなっている。

[第6位 公共交通の便利さを進める事業]



公共交通の便利さを進める事業について、これから、より積極的に進めてほしいと思うことは、「利用しやすい料金制度の実現」が 46.4%と最も高く、次いで、「公共交通ネットワークの充実」が 39.7%となっている。以下、「バスの利用のしやすさ」が 25.7%、「時刻表や料金、乗り継ぎ情報の提供」が 16.8%となっている。

公共交通の便利さを進める事業について、より積極的に進めてほしいと思うことは、「利用しやすい料金制度の実現」が 46.4%。

	サンプル数	利用しやすい料金制度の実現	時刻表や料金、乗り継ぎ情報の提供	時刻表などの運行や運行状況に関する情報の提供	段差解消など、施設や車両の改善	公共交通ネットワークの充実	バスの利用のしやすさ	その他	無回答
平成26年度	179	46.4	16.8	9.5	12.8	39.7	25.7	18.4	1.1
平成25年度	184	42.4	14.1	15.2	21.2	41.8	29.3	11.4	1.1
《性別》									
男性	94	40.4	14.9	12.8	8.5	46.8	22.3	22.3	1.1
女性	85	52.9	18.8	5.9	17.6	31.8	29.4	14.1	1.2
《年代別》									
18歳～19歳	11	72.7	9.1	18.2	9.1	27.3	36.4	18.2	-
20歳～29歳	28	50.0	17.9	14.3	-	50.0	17.9	17.9	-
30歳～39歳	28	39.3	17.9	10.7	7.1	46.4	21.4	39.3	-
40歳～49歳	25	48.0	8.0	12.0	4.0	44.0	36.0	12.0	-
50歳～59歳	37	37.8	16.2	8.1	10.8	32.4	32.4	24.3	-
60歳～69歳	30	50.0	13.3	6.7	23.3	50.0	13.3	6.7	3.3
70歳以上	20	45.0	35.0	-	40.0	15.0	30.0	5.0	5.0
《出生地別》									
札幌生まれ	69	56.5	13.0	10.1	11.6	34.8	30.4	23.2	-
札幌以外	108	39.8	17.6	9.3	13.9	43.5	22.2	15.7	1.9

は各属性で最も高い数値

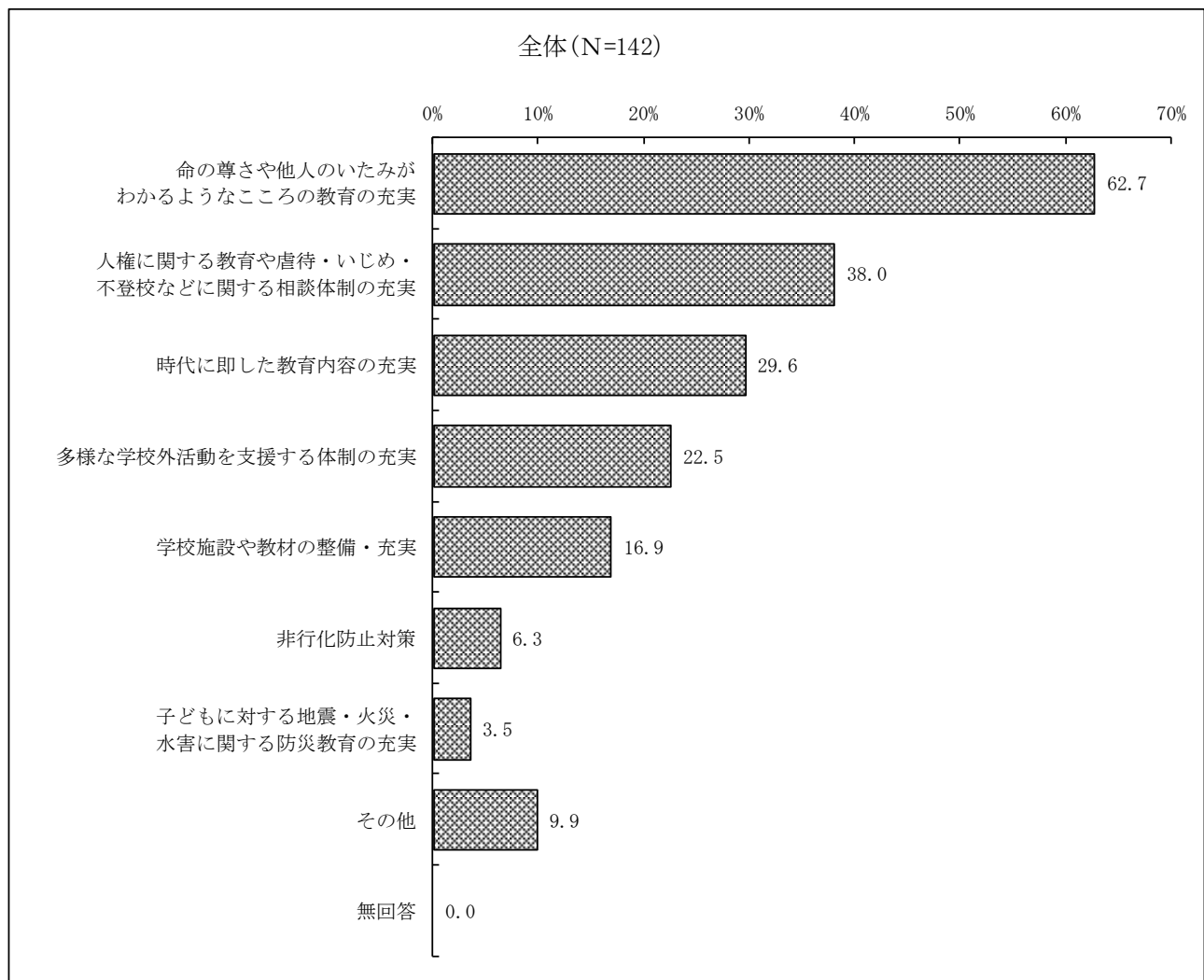
昨年度と比較すると、上位3項目の順位に変動はなく、「利用しやすい料金制度の実現」が46.4%と最も高く、引き続き第1位となっている。また、「時刻表や料金、乗り継ぎ情報の提供」は、昨年度14.1%で第6位だったのに対し、本年度は16.8%と2.7ポイント増で第4位となっている。

性別でみると、女性は全体と同様に「利用しやすい料金制度の実現」が52.9%と最も高くなっており、男性は全体で第2位の「公共交通ネットワークの充実」が46.8%で最も高くなっている。

年代別でみると、18歳～19歳、20歳代、40歳代～70歳以上は、全体と同様に「利用しやすい料金制度の実現」が最も高くなっており、30歳代、20歳代と60歳代は同率で、「公共交通ネットワークの充実」が第1位となっている。また、「段差解消など、施設や車両の改善」は、70歳以上では4割を超えており、他の年代層より高くなっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人は、「利用しやすい料金制度の実現」が56.5%と最も高く、札幌以外の出身者は、「公共交通ネットワークの充実」が43.5%で最も高くなっている。

[第7位 子どもの教育に関する事業]



子どもの教育に関する事業について、これから、より積極的に進めてほしいと思うことは、「命の尊さや他人のいたみがわかるようなこころの教育の充実」が 62.7%と最も高く、次いで、「人権に関する教育や虐待・いじめ・不登校などに関する相談体制の充実」が 38.0%となっている。以下、「時代に即した教育内容の充実」が 29.6%、「多様な学校外活動を支援する体制の充実」が 22.5%となっている。

子どもの教育に関する事業について、より積極的に進めてほしいと思うことは、「命の尊さや他人のいたみがわかるようなこころの教育の充実」が 62.7%。

	サンプル数	非行化防止対策	人権に関する教育や虐待・いじめ・不登校などに関する相談体制の充実	命の尊さや他人のいたみがわかるようなところの教育の充実	時代に即した教育内容の充実	学校施設や教材の整備・充実	多様な学校外活動を支援する体制の充実	子どもに対する防災教育の充実・水害に関する防災教育の充実	その他	無回答
平成26年度	142	6.3	38.0	62.7	29.6	16.9	22.5	3.5	9.9	0.0
平成25年度	145	10.3	45.5	56.6	33.1	15.9	17.2	7.6	6.2	0.7
《性別》										
男性	65	7.7	40.0	64.6	35.4	16.9	18.5	4.6	6.2	－
女性	77	5.2	36.4	61.0	24.7	16.9	26.0	2.6	13.0	－
《年代別》										
18歳～19歳	4	－	50.0	25.0	25.0	75.0	25.0	－	－	－
20歳～29歳	19	5.3	57.9	47.4	15.8	5.3	31.6	10.5	5.3	－
30歳～39歳	41	7.3	29.3	63.4	34.1	24.4	19.5	7.3	9.8	－
40歳～49歳	37	2.7	32.4	70.3	40.5	13.5	21.6	－	13.5	－
50歳～59歳	19	15.8	42.1	57.9	36.8	10.5	10.5	－	10.5	－
60歳～69歳	13	7.7	38.5	76.9	－	7.7	38.5	－	7.7	－
70歳以上	9	－	44.4	66.7	22.2	22.2	22.2	－	11.1	－
《出生地別》										
札幌生まれ	52	7.7	50.0	57.7	23.1	15.4	21.2	5.8	9.6	－
札幌以外	89	5.6	31.5	65.2	33.7	18.0	23.6	2.2	9.0	－

は各属性で最も高い数値

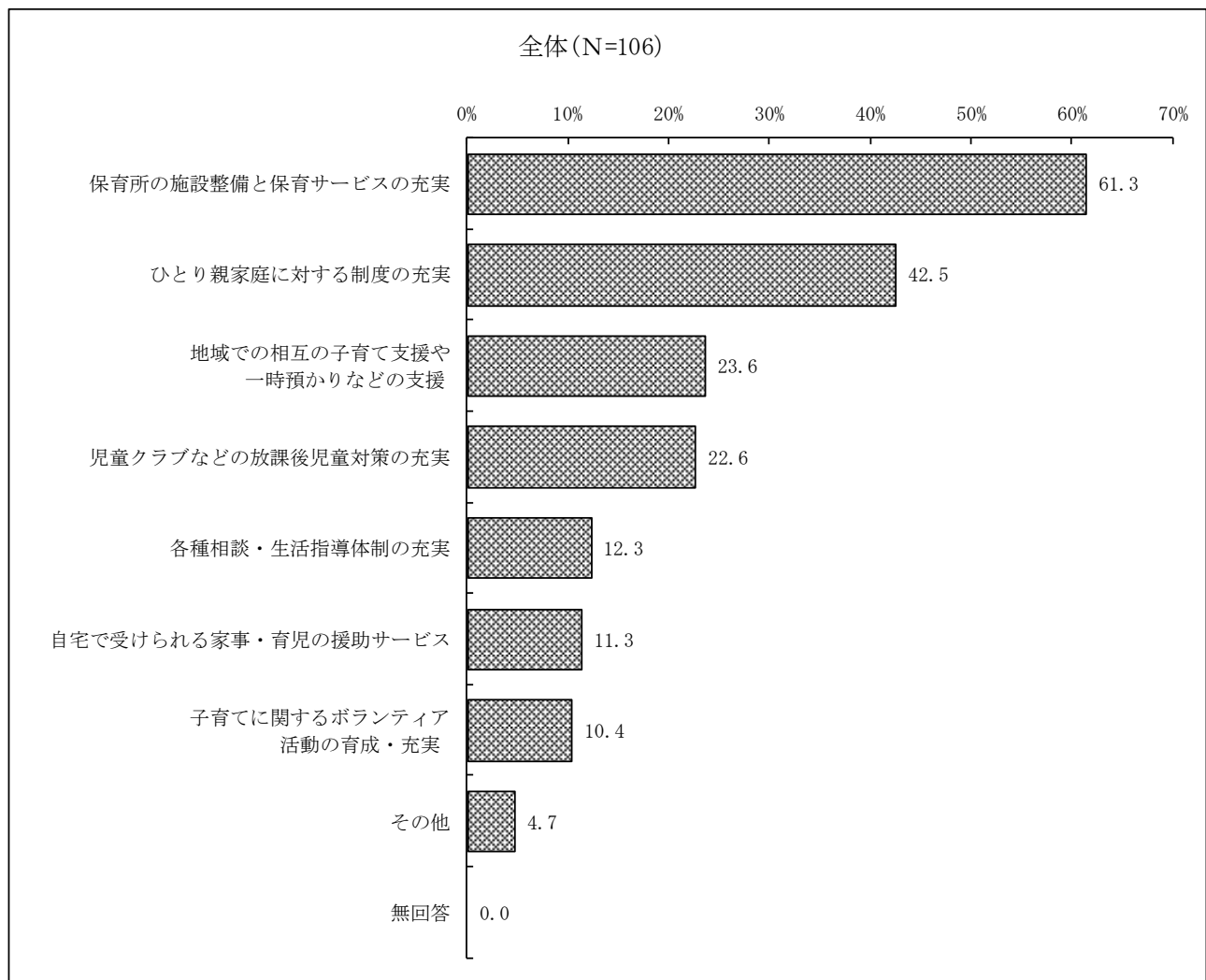
昨年度と比較すると、上位5項目の順位に変化はなく、「命の尊さや他人のいたみがわかるようなところの教育の充実」が昨年度の 56.6%に対し、本年度は 62.7%と 6.1 ポイント増で、引き続き第 1 位となっている。

性別でみると、男女とも全体と同様に「命の尊さや他人のいたみがわかるようなところの教育の充実」が最も高くなっている。

年代別でみると、30 歳代～70 歳以上は、全体と同様に「命の尊さや他人のいたみがわかるようなところの教育の充実」が最も高くなっており、18 歳～19 歳は「学校施設や教材の整備・充実」、20 歳代は、「人権に関する教育や虐待・いじめ・不登校などに関する相談体制の充実」が最も高くなっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人、札幌以外出身者ともに、「命の尊さや他人のいたみがわかるようなところの教育の充実」が最も高くなっている。

[第8位 母子及び父子・児童福祉に関すること]



母子及び父子・児童福祉に関することで、これから、より積極的に進めてほしいと思うことは、「保育所の施設整備と保育サービスの充実」が 61.3%と最も高く、次いで、「ひとり親家庭に対する制度の充実」が 42.5%となっている。以下、「地域での相互の子育て支援や一時預かりなどの支援」が 23.6%、「児童クラブなどの放課後児童対策の充実」が 22.6%となっている。

母子及び父子・児童福祉に関することで、より積極的に進めてほしいと思うことは、「保育所の施設整備と保育サービスの充実」が 61.3%。

	サンプル数	保育所の施設整備と保育サービスの充実	地域での相互の子育て支援や一時預かりなどの支援	自宅で受けられる家事・育児の援助サービス	子育てに関するボランティア活動の育成・充実	児童クラブなどの放課後児童対策の充実	ひとり親家庭に対する制度の充実	各種相談・生活指導体制の充実	その他	無回答
平成26年度	106	61.3	23.6	11.3	10.4	22.6	42.5	12.3	4.7	0.0
平成25年度	113	55.8	33.6	23.0	8.8	26.5	23.9	11.5	5.3	1.8
《性別》										
男性	33	66.7	27.3	12.1	6.1	18.2	42.4	12.1	6.1	-
女性	73	58.9	21.9	11.0	12.3	24.7	42.5	12.3	4.1	-
《年代別》										
18歳～19歳	2	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-
20歳～29歳	15	80.0	20.0	-	13.3	26.7	33.3	13.3	6.7	-
30歳～39歳	33	66.7	30.3	15.2	6.1	24.2	21.2	12.1	9.1	-
40歳～49歳	16	62.5	18.8	25.0	12.5	18.8	50.0	-	-	-
50歳～59歳	15	53.3	20.0	6.7	6.7	6.7	73.3	20.0	-	-
60歳～69歳	22	50.0	27.3	4.5	9.1	31.8	54.5	9.1	4.5	-
70歳以上	3	33.3	-	-	33.3	-	66.7	66.7	-	-
《出生地別》										
札幌生まれ	36	69.4	27.8	5.6	8.3	33.3	33.3	8.3	2.8	-
札幌以外	70	57.1	21.4	14.3	11.4	17.1	47.1	14.3	5.7	-

は各属性で最も高い数値

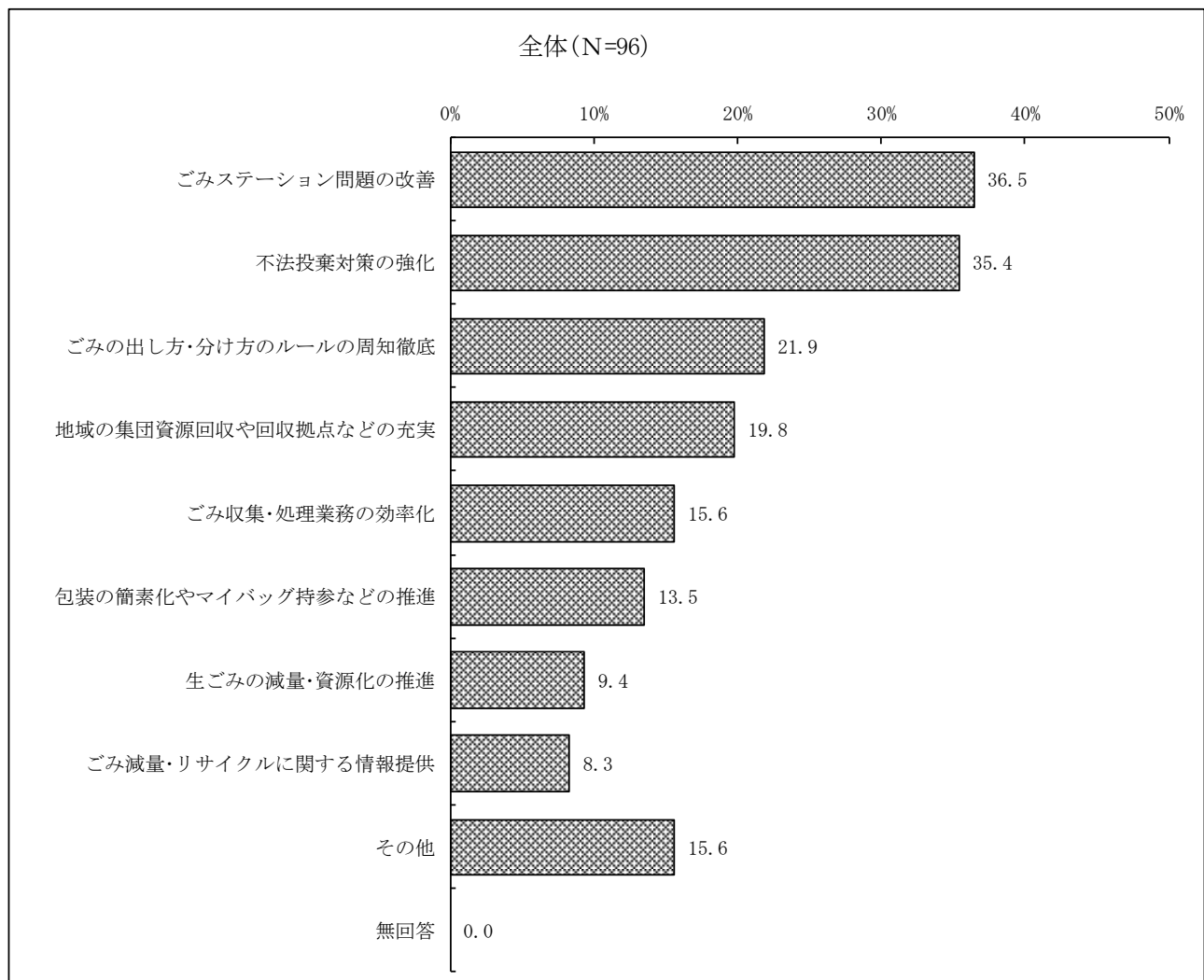
昨年度と比較すると、「保育所の施設整備と保育サービスの充実」が昨年度の 55.8%に対し、本年度は 61.3%と 5.5 ポイント増で、引き続き第 1 位となっている。また、「ひとり親家庭に対する制度の充実」が 42.5%で、昨年度の 23.9%より 18.6 ポイント増で、第 4 位から第 2 位となっている。

性別でみると、男女とも全体と同様に「保育所の施設整備と保育サービスの充実」が最も高くなっており、男性が 66.7%で、女性の 58.9%より 7.8 ポイント高くなっている。

年代別でみると、20 歳代～40 歳代は、全体と同様に「保育所の施設整備と保育サービスの充実」が最も高くなっており、50 歳代～70 歳以上は「ひとり親家庭に対する制度の充実」が最も高くなっている。70 歳以上は同率で、「各種相談・生活指導体制の充実」が第 1 位となっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人、札幌以外の出身者ともに、「保育所の施設整備と保育サービスの充実」が最も高くなっている。

[第9位 ごみや資源回収のこと]



ごみや資源回収のことで、これから、より積極的に進めてほしいと思うことは、「ごみステーション問題の改善」が 36.5%と最も高く、次いで、「不法投棄対策の強化」が 35.4%となっている。以下、「ごみの出し方・分け方のルールの周知徹底」が 21.9%、「地域の集団資源回収や回収拠点などの充実」が 19.8%となっている。

ごみや資源回収のことで、より積極的に進めてほしいと思うことは、「ごみステーション問題の改善」が 36.5%。

	サンプル数	包装の簡素化やマイバッグ持参などの推進	地域の集団資源回収や回収拠点などの充実	生ごみの減量・資源化の推進	不法投棄対策の強化	ごみステーション問題の改善	ごみの出し方・分け方のルール	情報提供	ごみ減量・リサイクルに関する	ごみ収集・処理業務の効率化	その他	無回答
平成26年度	96	13.5	19.8	9.4	35.4	36.5	21.9	8.3	15.6	15.6	0.0	
平成25年度	89	20.2	21.3	21.3	30.3	34.8	21.3	11.2	7.9	9.0	4.5	
《性別》												
男性	48	10.4	16.7	6.3	37.5	41.7	22.9	8.3	16.7	20.8	—	
女性	48	16.7	22.9	12.5	33.3	31.3	20.8	8.3	14.6	10.4	—	
《年代別》												
18歳～19歳	3	—	—	33.3	33.3	66.7	—	—	33.3	—	—	
20歳～29歳	5	20.0	20.0	—	60.0	60.0	—	—	20.0	20.0	—	
30歳～39歳	19	21.1	21.1	5.3	10.5	52.6	31.6	10.5	15.8	15.8	—	
40歳～49歳	13	7.7	15.4	—	46.2	30.8	23.1	23.1	7.7	7.7	—	
50歳～59歳	15	—	13.3	6.7	20.0	26.7	33.3	6.7	13.3	33.3	—	
60歳～69歳	17	11.8	17.6	—	58.8	29.4	23.5	5.9	11.8	23.5	—	
70歳以上	24	20.8	29.2	25.0	37.5	29.2	12.5	4.2	20.8	4.2	—	
《出生地別》												
札幌生まれ	26	11.5	11.5	—	30.8	50.0	26.9	3.8	26.9	19.2	—	
札幌以外	67	13.4	23.9	11.9	37.3	32.8	19.4	10.4	10.4	14.9	—	

は各属性で最も高い数値

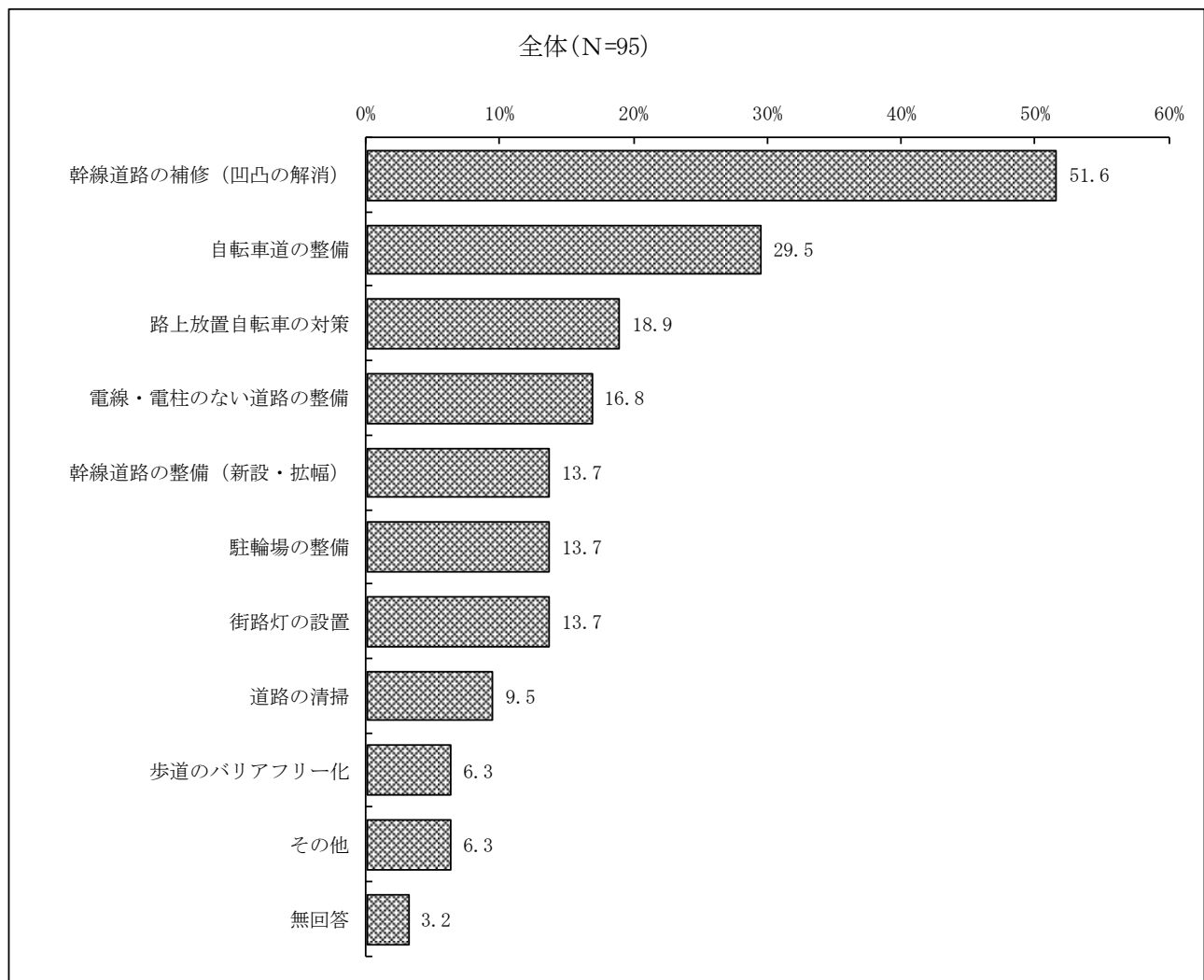
昨年度と比較すると、上位3項目の順位に変動はなく、「ごみステーション問題の改善」が36.5%と最も高く、引き続き第1位となっている。また、「ごみ収集・処理業務の効率化」が15.6%で、昨年度の7.9%より7.7ポイント増で、第8位から第5位となっている。一方、「生ごみの減量・資源化の推進」が9.4%で、昨年度の21.3%より11.9ポイント減で、第3位から第7位となっている。

性別でみると、男性は全体と同様に「ごみステーション問題の改善」が41.7%と最も高く、女性は「不法投棄対策の強化」が33.3%と最も高くなっている。

年代別でみると、18歳～19歳、20歳代、30歳代は、全体と同様に「ごみステーション問題の改善」が最も高くなっており、20歳代（同率）、40歳代、60歳代、70歳以上は、「不法投棄対策の強化」、50歳代は、「ごみの出し方・分け方のルールの周知徹底」が最も高くなっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人は、全体と同様に「ごみステーション問題の改善」、札幌以外の出身者は、「不法投棄対策の強化」が最も高くなっている。

[第10位 道路の整備・維持管理に関すること]



道路の整備・維持管理に関することで、これから、より積極的に進めてほしいと思うことは、「幹線道路の補修（凹凸の解消）」が **51.6%**と最も高く、次いで、「自転車道の整備」が **29.5%**となっている。以下、「路上放置自転車の対策」が **18.9%**、「電線・電柱のない道路の整備」が **16.8%**となっている。

道路の整備・維持管理に関することで、より積極的に進めてほしいと思うことは、「幹線道路の補修（凹凸の解消）」が **51.6%**。

	サンプル数	幹線道路の整備 (新設・拡張)	幹線道路の補修 (凹凸の解消)	自転車道の整備	駐輪場の整備	路上放置自転車の対策	街路灯の設置	歩道のバリアフリー化	電線・電柱のない道路の整備	道路の清掃	その他	無回答
平成26年度	95	13.7	51.6	29.5	13.7	18.9	13.7	6.3	16.8	9.5	6.3	3.2
平成25年度	123	13.8	50.4	30.9	10.6	10.6	-	15.4	12.2	3.3	4.1	1.6
《性別》												
男性	51	21.6	62.7	27.5	11.8	21.6	9.8	3.9	15.7	7.8	3.9	-
女性	44	4.5	38.6	31.8	15.9	15.9	18.2	9.1	18.2	11.4	9.1	6.8
《年代別》												
18歳～19歳	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
20歳～29歳	9	11.1	44.4	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	-	11.1	-
30歳～39歳	14	7.1	42.9	35.7	14.3	28.6	14.3	-	21.4	28.6	-	-
40歳～49歳	16	12.5	56.3	31.3	12.5	6.3	18.8	-	12.5	12.5	12.5	-
50歳～59歳	19	10.5	52.6	26.3	21.1	26.3	15.8	-	21.1	-	-	5.3
60歳～69歳	19	10.5	63.2	26.3	5.3	15.8	5.3	15.8	15.8	10.5	15.8	5.3
70歳以上	16	25.0	50.0	31.3	6.3	18.8	18.8	12.5	12.5	6.3	-	6.3
《出生地別》												
札幌生まれ	32	18.8	50.0	25.0	6.3	18.8	12.5	6.3	31.3	9.4	12.5	3.1
札幌以外	61	11.5	52.5	29.5	16.4	19.7	14.8	6.6	9.8	9.8	3.3	3.3

は各属性で最も高い数値

平成25年度の「-」は比較データなし

昨年度と比較すると、「幹線道路の補修（凹凸の解消）」が昨年度の 50.4% に対し、本年度は 51.6% と 1.2 ポイント増で、引き続き第 1 位となっている。また、「路上放置自転車の対策」が 18.9% で、昨年度の 10.6% より 8.3 ポイント増で、第 6 位から第 3 位となっている。

性別でみると、男女とも全体と同様に「幹線道路の補修（凹凸の解消）」が最も高くなっており、男性が 62.7% で、女性の 38.6% より 24.1 ポイント高くなっている。

年代別でみると、20 歳代～70 歳以上は、全体と同様に「幹線道路の補修（凹凸の解消）」が最も高くなっている。

出生地別でみると、札幌生まれの人、札幌以外の出身者ともに、「幹線道路の補修（凹凸の解消）」が最も高くなっている。